



WEEKLY REPORT

Rotary 東京立川ロータリークラブ 2020.2.14 第2875回 例会

2019～2020年度 RIテーマ



2019～2020年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

ロータリーは
世界をつなぐ

2019～2020年度 クラブテーマ

Restart!

創立60周年 第2ステージの始まり
2019-2020

東京立川ロータリークラブ
会長 長井 守



卓話講師の北川常弘様と一緒に

【会長挨拶】 長井 守 会長

本日はバレンタインデーですが、毎年静かに過ぎ去って行くこの日、私にとって無縁の話になりますが、少しお付き合い頂きたいと思えます。

バレンタインデーの起源は、その昔ローマ時代に遡ります。ローマ帝国では「妻や子供がいると兵士の士気が下がる」という理由で、結婚が禁止されていました。それをキリスト教の司祭バレンタインは気の毒に思い兵士達の結婚を隠れて行いましたが、その後皇帝の耳に入り処刑され、その命日を恋人たちの日「バレンタインデー」と名付けたのだそうです。

日本では女性から男性へチョコレートを贈り、愛を告白する日として親しまれていますが、国や地域によってバレンタインの習慣は異なり、独自の愛の日の文化を築いています。今やバレンタインデーは、国民的行事と言える程に普及していますが、チョコレートという、日本社会に受け入れやすい要素は商戦活動の役を買った事は間違いありません。

しかしながら、数年前から「義理チョコ」という日本独特のお約束的なチョコレートが習慣化される様になりました。これを受けて、2018年2月1日にベルギーのチョコレートメーカー「ゴディバ」の日本法人が「日本は義理チョコをやめよう」と新聞紙上に全面広告を掲載しました。本来バレンタインデーは、愛を象徴する日。つまり好意を持つ相手に、特別な存在であると感じてもらう日なのです。義務感や形式から「義理チョコ」というツールを使うのは、お互いの負担にしかならず、不毛なものです。

その昔私が中学生だったその日、緊張感と確信のない期待に包まれながら登校した日々をふと思い出しました。純粋に愛情を表現する日として「セント・バレンタインデー」はあるべきでしょう。因みに、世間ではあまり認知されてないのですが、9月14日は「セプテンバー・バレンタイン」といって、女性から男性に別れを言い出してもいい日としています。この日が国民的行事にならない事を願ってやみません。

【お客様の紹介】 長井 守 会長 北川常弘 様

(現職: 横浜市資源環境局 参事
〔非常勤特別職員〕
前職: 神奈川県警 小田原警察署長)



長井 守 会長



司会進行
金松誠司 副委員長



ニコニコ発表
堀越 豊 委員



出席率の発表
金原宏和 委員

【司会進行】

SAA委員会 金松誠司 副委員長

【開会点鐘】 長井 守 会長

【国歌斉唱】

『四つのテスト』

【お客様の紹介】 長井 守 会長

【会長挨拶】 長井 守 会長

【幹事報告】 中山賢一 幹事

【委員会報告】

親睦委員会 安藤永一 副委員長

【ニコニコ発表】

親睦委員会 堀越 豊 委員

【出席率の発表】

出席委員会 金原宏和 委員

2月14日(金)	会 員 数	122名
	出席 義務 会員	113名
	出席 免除 会員	9名
	当 日 出 席 者	100名
	出席免除会員の当日出席者	4名
	出 席 率	84.75%
	1月31日の出席率	83.89% → 96.58%

【卓話】

横浜市資源環境局 参事(非常勤特別職員)
北川常弘 様

【閉会点鐘】 長井 守 会長



例会場: パレスホテル立川(立川市曙町2-40-15)
例会開催日: 毎週金曜日 開会点鐘 12:30
会報担当者: 反町太一
発行者: 長井 守

事務局: 立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
【TEL】 042-525-4046 【FAX】 042-529-2666
【HP】 <http://www.tachikawa-rc.org/>
【E-mail】 ttcr8082@sepia.ocn.ne.jp



例会時には必ずバッジをつけましょう

【幹事報告】 中山賢一 幹事

●ガバナー月信2月号をテーブルに配布
●新しいクラブバナー決定、各テーブルに配布●立川商工会義所より第10回環境シンポジウムのご案内をメールボックスに投函●2/16(日)立川市柴崎町AAカンパニーでおじさんバンドのライブを開催、当クラブの鈴木 寛さん木村 真人さん金子さん松浦さん小林 寛さんが出演予定



【委員会報告】

親睦委員会 安藤永一 副委員長

長井年度第3回目となる三日月会のお知らせです。今回はお花見編という事で桜を眺めながら、若手と先輩で大いにロータリーを語り合う場にしたいと思えます。3月25日18時30分からで、昨年も開催された国立の焼肉亭いなみにて開催致します。また今回はこの日より9日後に迫った周年式典の決起大会の要素も考えて開催したいと思いますので、皆様振るってのご参加をお願い申し上げます。



【ニコニコ発表】 親睦委員会 堀越 豊 委員

- 長井 守会長 北川常弘様、お忙しい所お越し下さり、有難うございます。本日は卓話宜しくお祈りします。
- 中山賢一幹事 講師北川常弘様、本日の卓話宜しくお祈り致します。楽しみにしております。
- 岡部直士さん 家内たまきの誕生祝いを頂き、有難うございました。又、先日のスキー・スノーボードツアーご参加の皆様、お疲れ様でした。又、心付けを頂戴した17名の皆様、心から御礼申し上げます。
- 田島瑞也さん 北川常弘様、遠路よりご足労、大変恐縮です。本日の卓話、宜しくお祈り申し上げます。
- 山下隆仁さん 北川様、本日遠路有難うございます。卓話楽しみに致しております。

本日合計 21,000円 本年度累計 2,177,000円

【卓話講師紹介】

プログラム委員会 山下隆仁 委員長

現職は横浜市資源環境局参事、神奈川大学法学部非常勤講師、神奈川県歯科委員会特別委員として活躍中です。前職は神奈川県警に在籍され、機動捜査隊長をはじめ刑事部鑑識課長、刑事部捜査第一課長、警視正刑事総務課長就任後、青葉警察署長から小田原警察署長を経て平成29年に退官されました。本日は現職時代に携わった事件について、テレビ等では報道されなかった内容等も含めてお話し頂きます。



卓話 「印象深い事件の陰に」 北川常弘 様

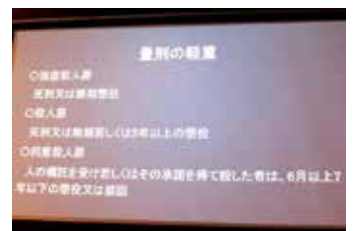
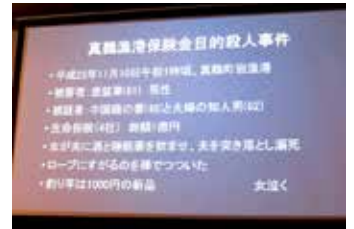
(現職:横浜市資源環境局 参事(非常勤特別職員) / 前職:神奈川県警 小田原警察署長)



私がこの場でお話をさせて頂く事になりました経緯は、当クラブの田島様と昨年2月にカンボジア旅行をした際にご一緒させて頂き、その時にお仕事の話し等をさせて頂き大変感銘を受けまして、それ以来一方的に慕って一方的にご厚誼を頂いているところでございます。

佐賀県小城町という田舎の出身で現在62歳、退職して2年になります。経歴は、初動捜査を担当する神奈川県警機動捜査隊長から、事件現場で指紋や足跡を採取して活動する鑑識課長を経て、捜査一課長を1年務めました。その後青葉警察署長、刑事総務課長、最後に小田原警察署長で退職致しました。在職中は世相を映した数々の事件を経験致しまして、その時の四つの事件について触れさせていただきます。

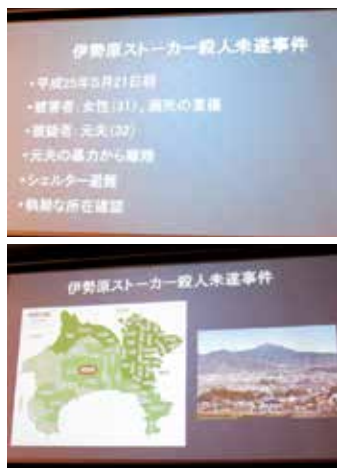
まず真鶴漁港保険金目的殺人事件は平成25年11月10日午前1時頃、真鶴の漁港で中国籍の48歳の女性が、男性を海に突き落として殺害したとされる事件で、翌年2月に被害者の妻と夫婦の知人男性(62歳)を逮捕しました。通報を受けて駆けつけた刑事が色々事情を聞きましたが、当初家族と一泊でたこ釣りに来たとの事でした。しかしその釣り道具は安価なおもちゃ道具だった事や、女性の証言が曖昧だった事、またこの夫婦は保険会社4社で合計1億円の保険を掛けており、不審点を解明するために捜査本部を立ち上げました。亡くなったご主人は、事業も上手くいかずしかも自分はガンだと思ひ込み、妻にお金を残しておきたいと言っていたらしいのです。ご存知かと思いますが、強盗殺人は死刑または無期懲役、殺人罪は死刑もしくは無期または5年以下の懲役となりますが、もう一つ同意殺人罪というものがあります。これは人の囑託を受け若しくはその承諾を得て殺した者は、6ヶ月以上7年以下の懲役又は禁固に処すとなっております、被害者から殺して欲しいと依頼された場合はこの同意殺人罪となります。妻は夫にお酒と睡眠薬を飲ませて海に突き落としたのです。保険金は支払われていませんが、この同意殺人罪が適用され、懲役2年6ヶ月の罪となりました。



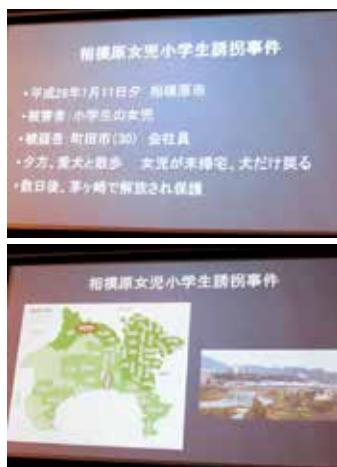
全会員出席で「第二ステージの始まり」を共有しよう!

最近では虐待やストーカー、DVIによる殺人事件が起きておりますが、平成25年伊勢原ストーカー殺人未遂事件に

ついてです。被害者は、元夫からストーカーを受けた31歳の女性で、刃物で刺されるなどして重傷を負いました。体の傷だけでなく心の傷も未だに癒えておりません。この時の反省と教訓として、女性が居住するアパートの自転車置き場の一台に、隠しカメラが設置されているのではないかという通報を受けていましたが、対応した警察官が正確な報告を怠っておりまして、事態切迫性を見逃していた事です。そして被害者の心境として、元夫の暴力性や執拗性を訴えていましたが、結果懲役12年の実刑判決となり、被害者は「裁判を経ても、全然解決していない。私は12年の命かも」との重い言葉でした。現在でも担当署員が継続して定期的に連絡をして被害者支援をしているところでございます。

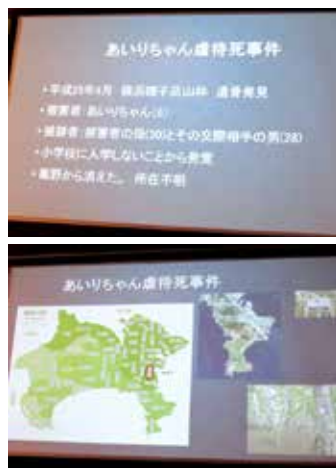


相模原女子小学生誘拐事件ですが、この事件は平成26年1月に発生し、被害者は小学生の娘で、夕方愛犬と散歩をしたまま未帰宅となり、犬だけが帰ってきました。事件や事故に巻き込まれている可能性もあるという事で、機動隊も出動して捜索しました。娘は数日後に茅ヶ崎の駐在所に駆け込み安全が確保されました。この事件の解決の糸口は、娘がとても冷静な判断をされていた事でした。誘拐後に目隠しで車に乗せられて移動していた状況等について、時間を掛けてじっくりと聞き取りの中で色々な情報を得ました。まず二階建てで家の階段より数が多かった事、夕方流れている防災無線の曲を記憶していた事などの情報から、犯人逮捕に繋がったのです。この時は報道が過熱して誘拐された事に対して興味が先行しており、娘と家族のプライバシー保護の観点からも報道を大きくしないように要請をしておりましたが、一部大きく報じられてしまいました。視聴者の「知る権利」と被害者を守るための「情報の抑制」を考えなければならぬと感じました。



最後にあいりちゃん虐待死事件です。これは秦野警察署で認知した事件ですが、遺体が遺棄されたのは横浜市磯子区円海山の山中において遺骨で発見されました。平成25年4月に小学校に入学予定のあいりちゃんという娘が行方不明になりましたが、横浜から秦野に住民票が移っていたのに登校していない事から捜査を開始しました。母親を取り調べたところ、(あいりが)言う事を聞かない事もあり厳しく言う事も手を上げた事もあった。それでも言う事を

聞かない時に(その時期に同棲していた男に)厳しくしてもらい、やりすぎて死んでしまった。との事でした。母親は裁判では、自分は少ししたしなめる程度の事はしたが、死ぬような事はしていないし、死体遺棄というけれども交際相手の男に無理矢理連れて行かれたのだと、否認したのです。これにより男は傷害致死と死体遺棄で懲役8年、女は暴行と死体遺棄で懲役2年となりました。これは今でも悔やまれる事件であります。



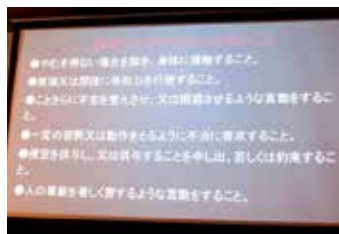
その後、人が亡くなるとか傷をつけられる前に何とか手を打てないだろうかと、警察としてもっと積極的に取り組もうという事で、DVやストーカー、児童虐待等の人命に関わる事案に関しては専門的に対処するというプロジェクトチームが立ち上がり、平成25年に人身安全対策室が設置されました。さらに、平成29年には人身安全対策課に格上げされておりまして、スタートは神奈川県警ですが、現在は全国で人身安全対策が強化されており、全国警察の最重要課題として対応しております。

変わってこれから「捜査本部」「取調べ」「報道対応」についてお話ししたいと思います。まず「捜査本部」についてですが、警察の隠語で「帳場」と言います。凶悪事件等が発生すると捜査本部を立ち上げるわけですが、捜査第一課長、課長代理(警視庁では管理官)、そして神奈川の場合はその下に中隊長(警視庁ではキャップ)と呼ぶ警部のもとに刑事が配置されています。捜査本部が立ち上がりますと、捜査一課員の他に機動捜査隊や鑑識課、科捜研からの応援、各署からの刑事も集められ数十名から多いと100名を超える捜査員で集中的に捜査を進めます。テレビでは本部長・刑事部長・捜査一課長がひな壇に並んで映っている様な状況を見られた方もいるかと思いますが、神奈川ではそういう事はほとんどありませんでした。捜査は中隊長をワンチームとして強力に進められる訳ですが、まさしく厳しい勤務環境で家にも帰らず激務をこなしていきます。そこで感じたのは彼らの素朴な正義感、被害者の無念を晴らすという使命感、そして検挙して解決した時の達成感が彼らを熱くした事です。捜査本部が立ち上がった当初はとても忙しく、数日家に帰れない事もあるのですが、その時には仮眠をするために道場や講堂の端に使い古しの布団を敷いて寝るといった状況もあります。着替えも持ち込みますが当然足らなくなる場合もあり、その際は警察署に設置されている洗濯機を使用し、それでも足りない場合はご家族が届けてくれる、宅急便を利用するといった場合もありました。このような状況の中で、彼らのすべてを犠牲にして捜



査に全力を尽くす姿に本当に感謝しております。「平から成り上がった最強の刑事」とテレビで紹介されている俳優の内藤剛志さんがいますが、捜査一課長は最強ではなく、実際には中隊長である警部が最強だと思っています。

「取調べ」についてです。当然事件について一番知っているのは当事者である犯人でありますから、犯人がいかにか事件の真実を話してくれるかが重要です。実際には中々厳しくまともに話してもらえない、話したとしても公判で否認をするという者もおります。取調べについてよく質問されるのですが、カツ丼は出るのかという問いについては「出ません」。はかせる時に顔にライトを当てるか、については「当てません」。被疑者の供述が中々得られない際に、脅したり胸ぐらを掴んだりする事があるのか、については「ありません」。また取調室の中で手錠はどうしているのか、については「手錠を外しています」。取り調べにおいては行動が厳格に決められており、相手の身に触れる事だけでなく机を叩く等の行為や、また正座等をさせる等を要求する事も禁じられ、更に取調室でタバコを吸わせる事やジュース等を飲ませる事も利益供与に当たるので禁じています。その中でいかに正確な供述を得るかがテーマで、「自白」がとても貴重で、客観的証拠と自白がきっちり重なって始めて真実が見極められます。そして罪を犯した者は法の処分を受けるという様にしていきたいと思います。



「報道対応」についてです。「夜討ち朝駆け」という言葉をご存知の方もいらっしゃるかと思います。捜査一課長当時、朝玄関に新聞を取りに出た際に、記者の方から「おはようございます」と挨拶されて、玄関先で事件の事について聞かれます。当然言える事も言えない事もあります。そのやりとりが終わって、各捜査本部に向かい、捜査の進捗状況の確認と必要な指示をします。夜は毎日の様に遅くなるのですが、帰宅時にも記者の方が「お帰りなさい」と迎えてくれたのでした。警察対応の記者は若い方が多く、しっかりとした基本取材が出来るかどうか、記事が書けるかで将来が決まってくる様ですので、とても熱心でした。特落ち(報道各社が記事にしているなか、記事に出来ない)で私はクビになってしまうと本音を漏らされている方もいました。ですので、基本的には同じ情報を皆さんに出していましたが、たまに記事にしてはいけない情報を公表した記者もいて出入り禁止にした事もあります。また女性の記者も多かったので、あらぬ疑いを掛けられそうになったり、夜中に自宅付近で10数人の記者が集まり110番通報されてしまった事等もありました。また着任間もない頃ですが、具合が悪くなって医者にかかった際に、「大きなストレスがありますか?」と聞かれたので、「毎日が大きいストレスです」と答えたところ、今の仕事から離れば良くなると言われたのですが、実際に捜査一課長を終えた後、すっかり回復致しました。

今つくづく思いますのは「後継者の育成」の大切さです。ワークライフバランス、働き方改革の流れの中で警察もそれに依じていくのですが、継続していかなければならない刑事魂と時代の変化と要請にどう変革していくかという事が重要なのだと思います。

最後にロータリークラブの皆様には警察に対するご理解とご協力を頂いております事に改めて感謝を申し上げます。また「安全・安心なまち立川」のためにこれからもロータリークラブの皆様の益々のご理解とご協力を頂きますよう、お願い申し上げます。

国際ロータリー第2750地区大会のお知らせ 2/24(月)・25(火)

地区創立40周年記念 Rotary

**国際ロータリー第2750地区
2019-20年度地区大会**

会場 **グランドプリンスホテル新高輪 国際館バミール**
 期日 **2020年 2月24日・25日**

2019-20年度は、当地区が1980年に第258地区から分離して節目の年、40年を迎えます。今年度は地区創立40周年を記念して、ご来賓として實仁親王妃陛下下にお出まし戴きご講演を賜ります。
 本会場はプログラムをコンパクトにし、1日目は多くの会費とご家族の皆様にご参加いただける「インターナショナルナイト」を開催いたします。楽しい地区大会を目指しますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

浅田 政久

インターナショナルナイト
 2020年 2月24日 18:00~20:00 (税別13,000円)

浅田 政久

富田親王妃陛下下のご退席を賜り、当地区のRI03650(内区)及びRI03481(外区)から参加のロータリークラブを歓迎する総会を開催します。地区PIBG及び社会員との交流の場でもあり、多くの会費やご家族の皆様にご参加いただけます。県外のロータリアンとの交友の機会も深めます。奥島地区ロータリークラブ-中野区済会による「中野」をテーマとした演説によるキックオフで、皆様も盛り込まれます。

ロータリアン、家族、友人、知人が集う
楽しいインターナショナルナイト!

只今!週報発行・60周年記念誌作成に向けて奮闘中!!

クラブ会報委員会11名 例会100%出席で一致団結!!